



西院小の窓

学校だより「後期学校評価」特別号

令和8年 3月吉日

京都市立西院小学校校長 坂本 恵一

2回目 学校評価の結果から



12月にご協力いただきました「後期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かしていきます。

<今年度の学校の取組> (文中の割合は肯定的な回答(「Aよくあてはまる」「Bあてはまる」)を示す)

本校では、学校教育目標「夢に向かって 自分を大切にし 他とのつながりを大切にできる子の育成～一人一人が輝き 愛される西院の子～」の実現のため、すべての教育活動の中で主体的・対話的で深い学びを実践し、児童の自己指導能力を育成することを目指し取り組んでいます。そして、生徒指導の実践上の4つの視点と言われる「自己存在感の感受」「自己決定の場の提供」「共感的な人間関係の育成」「安全・安心な風土の醸成」を意識した授業展開の工夫を行っています。また、人権教育を基盤とした取組を進めています。

【めざす子ども像1】 自ら進んで学習し、互いに高め合う子(確かな学力)について

「自分の思いや考えを友だちや先生に伝えている。」という項目に対しては【児童 87.2% (-0.9P)、保護者 82.5% (-2.5P)】と、児童、保護者の数値が前期を下回っていました。学校での様々な取組を通じて、実際に力がついてきている子どもたちは、その自分たちの力を図るためのものさしの存在が実際にないため、実感することがなかなか難しいのではないかと考えています。その為、子どもたちにその成長を実感させるための教職員の評価の在り方については、その工夫を考えていく必要があると感じました。世間一般的に、学校では「指導と評価の一体化」という言葉がありますが、今回の結果からも、学校として、今後、学習指導に対しての子どもたちへの評価はどうあるべきなのかについて、考えていくことが必要であると考えています。

「話し合い活動では、友だちの考えを知り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」という項目に対しては【児童 84.7% (-1.0P)、保護者 87.1% (0.7P)】と保護者の数値は前期を少し上回っていました。学校で話し合い活動に焦点を当て、その機会を大切にすることで、子どもたちの家庭での様子にも変化が見られたのかも知れないと感じています。学校は、実際に家庭での子どもたちの様子を見たり聞いたりしたわけではありませんが、この2者の数値を比べてみても、そのようなことが言えるのではないのでしょうか。学習における協働的な学びを通じて、友だち同士で関わりをもつことは、家庭での親子のコミュニケーションにも変化を及ぼすのかもしれないと感じています。また、子どもたちは、他者と協働することにより、学校での友達との関わりを家庭で伝えるきっかけとなるのかも知れません。いずれにしても、数値を見ての想像である部分が強いです。協働的な学びは、子どもたちだけでなく、保護者の方にとっても、子どもたちの成長を感じられる大事な機会となっているのではないだろうかと感じました。

「子どもが安心して学べる学校・学級になっていますか。」という項目に対しては【保護者 91.7% (-3.1P)】と、保護者の数値が90%を上回っていました。学校教育目標にもある「愛される」というキーワードがこの結果に繋がっていたら有難いと感じています。学校に子どもを預ける立場の保護者の方がそう感じておられるということは、教職員の取組が評価されているということに繋がっているのかも知れないと思ひ、大変有難く感じています。子どもたちが楽しく学校に通えるためには、「子どもが安心して学べる学校・学級になっていますか。」という項目は最重要であると考えています。心理的安全性の高い学級づくりを構築していくことで、安心できる環境づくりを今後も大切にしていきたいと思ひます。ご理解ご協力よろしくお願ひします。

【めざす子ども像2】 互いに認め合い、自分も友達も大切にする子(豊かな心)について

「楽しく学校生活を送っている。」という項目に対しては【児童 90.1% (-2.1P)、保護者 94.3% (-0.9P)】と、児童、保護者の数値は、共に90%を超える数値となりました。しかし、ここで気になるのは、約10%を占める子どもたちは、楽しいと強く感じていない実態があったということです。今現在の取組は、児童・保護者の高い数値には繋がっているかも知れませんが、9割の数値で安心するのではなく、1割の数値を大切にしながら、全ての子どもたちが「通いたい学校」、保護者の方が「通わせたい学校」、幸福度 No.1の学校を目指していく必要があると考えています。

「自分のよいところに気付いている。」という項目に対しては【児童 82.1% (-3.6P)、保護者 81.4% (-1.4P)】と児童、保護者の数値が前期を下回っていました。自分の良いところとは、自己肯定感や自己存在感、自己有用感に大きく関わる部分です。児童の数値が前期より減少を見せたり、90%を下回ったりしているということは、やはり教師から子どもたちへの評価に関わる部分において、子どもに対する教職員の働きかけの面で何かしらの原因があることが予想されます。もちろん、教職員ができたことはできたこととしてすぐにその場で褒めるという積上げから、子どもと教員の信頼関係を構築していることは紛れもない事実であります。しかし、その逆に位置する指導すべき点をなかなか評価に繋げることができていないことも現実的に存在しているのかも知れません。他の部分でも述べましたが、指導と評価の一体化という言葉が示すように、指導すべきことは指導しつつ、そのことを次の意欲に繋がる積極的な評価としていくことが今後重要になってくると考えられます。

「友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。」という項目に対しては【児童 94.7% (-0.2P)、保護者 97.1% (1.0P)】と児童、保護者の数値が100%に近い数値を示していました。このことから、子どもたちは友達同士の関わりを強く実感していることが分かりました。この項目は、協働的な学びに繋がる学習やその機会、取組を進めていくことで今後も100%を維持して欲しい項目だけに、子ども同士の関わりが深まるよりよい取組について、学習時間や生活時間だけでなく、特別活動の取組をより充実させていくなど、今後更なる工夫が必要になってくると考えています。

【めざす子ども像3】 身も心も鍛え、命を大切にする子(健やかな体)について

「進んで体を動かしている。」という項目に対しては【児童 83.8% (-0.9P)、保護者 75.4% (-0.1P)】と、児童、保護者の数値が前期を若干下回っていました。これについては、寒い時期であったため、前期と比べても外遊びをすることが億劫になってしまうという子どもの実態があったのかも知れません。また今年度は、気温の冷え込みの上がり下がりが激しく、この時期の気候に上手く対応できなかったことが、予想されます。もちろん、運動場での遊びが学年によって割り当てられているため、進んで体を動かして遊ぶ機会も限られていると考えられます。これまでもそうであったように、来年度以降も夏場の暑さ指数が向上し、運動場での活動が制限されることや、季節の変化に伴う急な寒暖の差が失われることはありません。自然現象のことであるので、仕方のないことですが、そういった意味でも今後取組について考えていく必要があると考えられます。

「交通や学校のルールを守って安全に生活している。」という項目に対しては、【児童 94.1% (-0.2P)、保護者 97.8% (0.4P)】と、児童、保護者の数値が前期に引き続き、90%を超える高い数値を示していました。これは、地域の協力がとても大きな影響を及ぼしていると考えられます。見守り隊の方が子どもたちの登下校を見守り、日々の安全指導に努めてくださることはもちろん、交通安全教室での学習や安全指導、啓発が、児童・保護者の安全意識の向上に変化をもたらしていることは、事実であると考えられます。もちろん、教職員による安全指導の日々の声かけアナウンスが関係していることも大きな影響を及ぼしていることも事実です。今後も、地域のご協力を賜りながら、子どもたち一人一人が命を大切にすることを今後も大切にしていきたいと考えています。

<保護者による学校(自由記述)>

自由記述欄には、多くのご意見お考えをいただきました。全てのご意見にお答えすることはできませんが、ご回答させていただきます。

「部活動」に対するご意見をいただきました。「他の小学校ではこれまで通りの実施と聞かす西院小は…」など、ありましたが、世の中の動きとしましては、中学校を中心に、部活動の地域移行化が進んでおります。これは今後もさらに進んでいき、令和10年には、中学校の部活地域移行がスタートする予定で、これまでのような在り方ではなくなります。部活動の取組が変容していく中で、本校では、2年前からPTA主催のミニバスケットボール部、サッカー部、六斎念仏部、音楽部を立ち上げており、今後も子どもたちの体験の場づくりを考えていきたいと思ひています。

学校運営協議会の皆様のご意見>

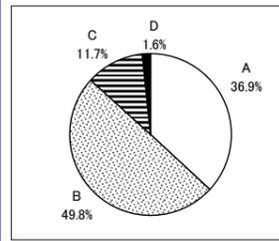
全ての学校に存在する問題として「不登校問題」について、今後どう考えていくべきなのかについてのご意見がありました。地域にできることとしては、「子どもの多様性」「子どもの抱える様々な困り」ということを常に意識しながら、子どものニーズに合わせてその都度寄り添ったサポートをしていくことなど、地域としても、学校と協力して、子どもたちを引き続き支援していきたいとのご意見をいただきました。



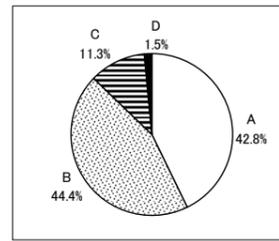
児童アンケート

(A…よくあてはまる、B…あてはまる、C…あまりあてはまらない、D…まったくあてはまらない)

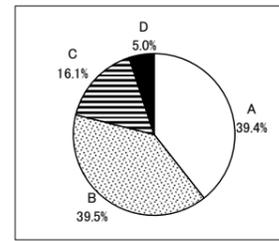
① 分かるまで、粘り強く学習している。



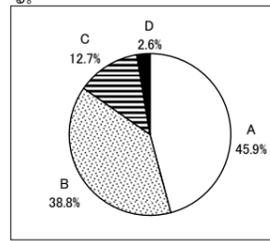
② 自分の思いや考えを目的に合わせて書いている。



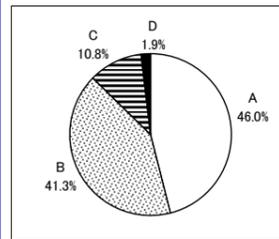
③ 自分の思いや考えを友だちや先生に伝えている。



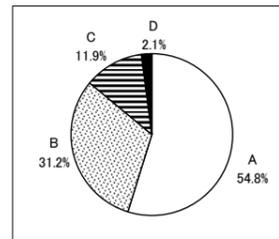
④ 話し合い活動では、友だちの考えを知り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



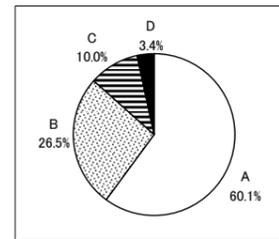
⑤ 学習で学んだことを他の学習に生かしている。



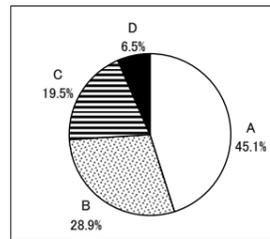
⑥ 色々な学習の場面で、意欲的にGIGA端末やタブレットを使い、学習をしている。



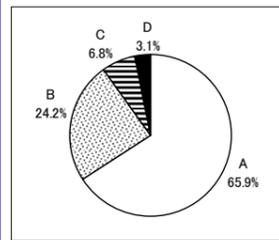
⑦ 夢や憧れをもって、目標に向かって努力している。



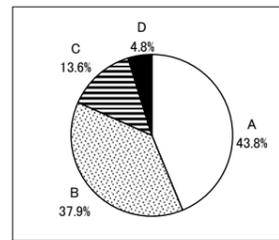
⑧ 進んで本を読んでいる。



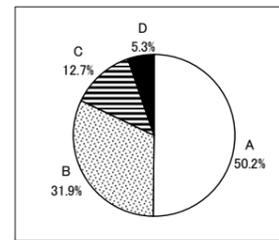
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



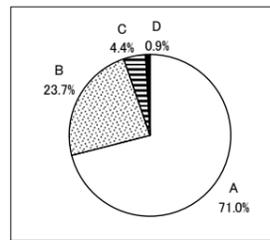
⑩ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



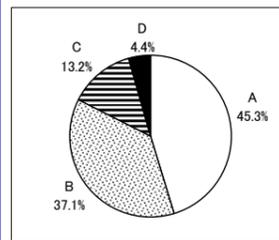
⑪ 自分には、よいところがある。



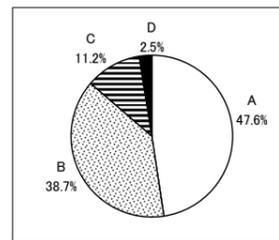
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



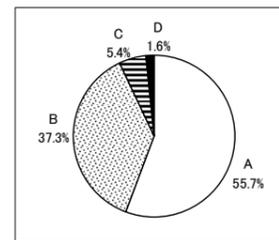
⑬ ものを整理・整頓をしたり、進んで掃除をしたりしている。



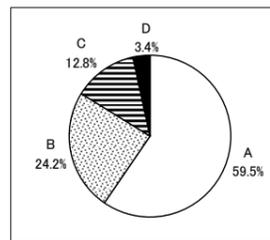
⑭ こまめに手洗い・うがいをしている。



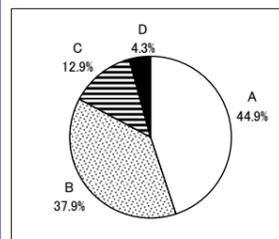
⑮ 思い込みや見た目で判断せず、友だちを傷つけることを言わないようにしている。



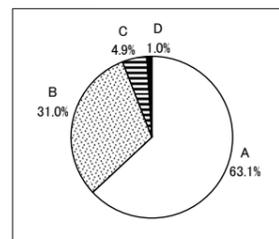
⑯ 進んで体を動かしている。



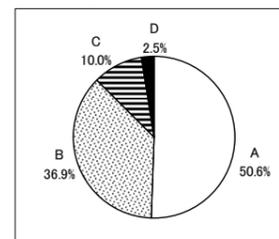
⑰ 早寝・早起き・朝ご飯・排便などの生活リズムや健康に気を付けている。



⑱ 交通や学校のルールを守って、安全に生活している。



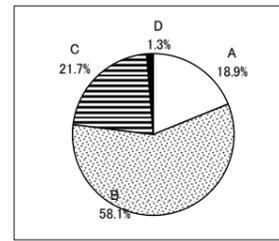
⑲ お家の人のことを大切に思い、お手伝いをよくしている。



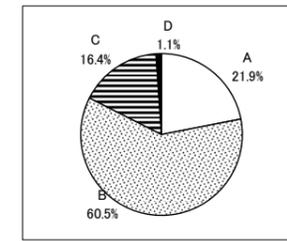
保護者学校評価 ～保護者から見た子ども～

(A…よくあてはまる、B…あてはまる、C…あまりあてはまらない、D…まったくあてはまらない)

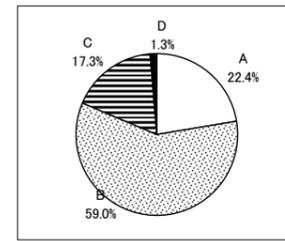
① 分かるまで粘り強く学習している。



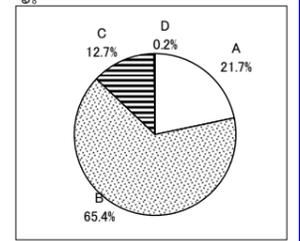
② 自分の思いや考えを目的に合わせて書いている。



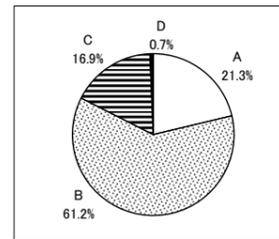
③ 自分の思いや考えを友だちや先生に伝えている。



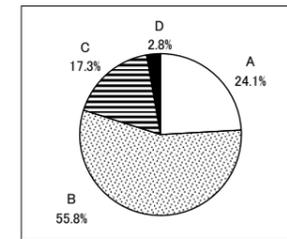
④ 話し合い活動では、友だちの考えを知り、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



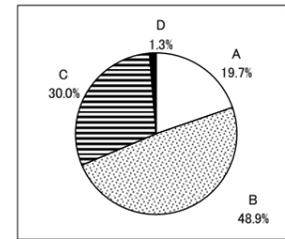
⑤ 学習で学んだことを他の学習に生かしている。



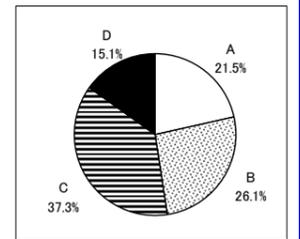
⑥ 色々な学習の場面で、意欲的にGIGA端末やタブレットを使い、学習をしている。



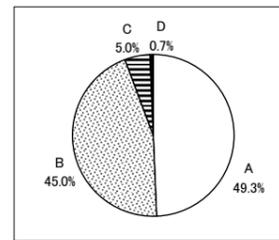
⑦ 夢や憧れをもって、目標に向かって努力している。



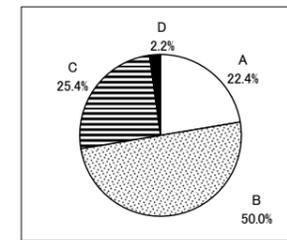
⑧ 進んで本を読んでいる。



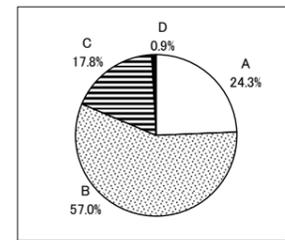
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



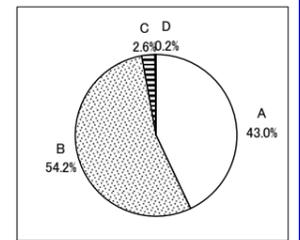
⑩ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



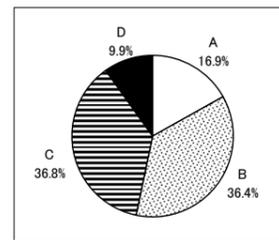
⑪ 自分のよいところに気付いている。



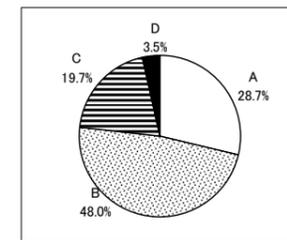
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



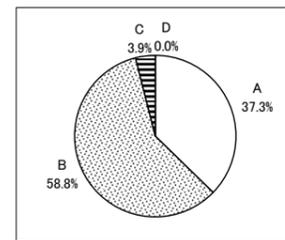
⑬ ものを整理・整頓をしたり、進んで掃除をしたりしている。



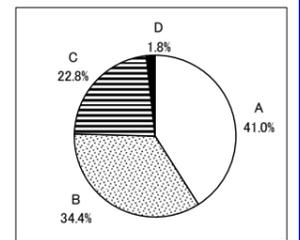
⑭ こまめに手洗い・うがいをしている。



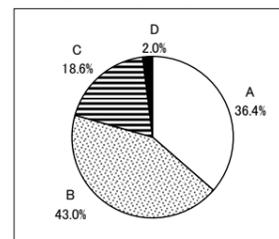
⑮ 思い込みや見た目で判断せず、友達を傷つける発言をしないようにしている。



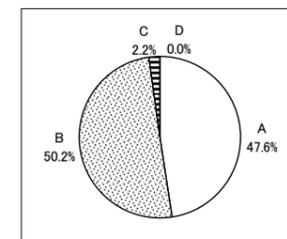
⑯ 進んで体を動かしている。



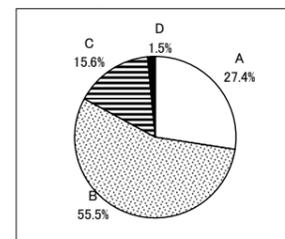
⑰ 早寝・早起き・朝ご飯・排便などの生活リズムや健康に気を付けている。



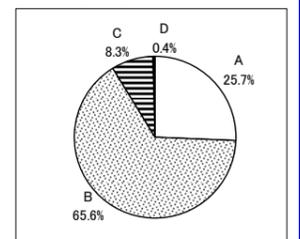
⑱ 交通や学校のルールを守って安全に生活している。



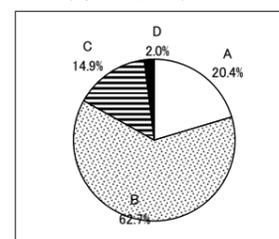
⑲ お家の人のことを大切に思い、お手伝いをよくしている。



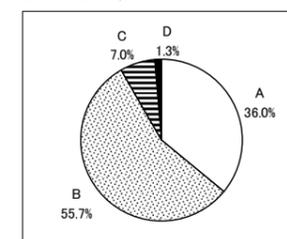
⑳ 子どもの力を引き出すことを心がけた授業が行われていますか。



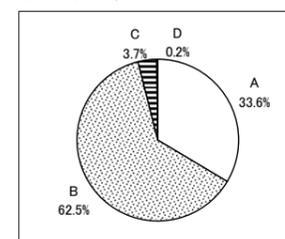
㉑ 一人一人の子どもに合わせた学習のサポートが行われていますか。



㉒ 子どもが安心して学べる学校・学級になっていますか。



㉓ 整理整頓された学習しやすい環境になっていますか。



㉔ 学校・学年・学級の方針や取組の様子がよく分かるように伝えられていますか。

